

日時: 4月10日(金) 13:00~14:30

場所: 農学部L101教室 (宮崎大学木花キャンパス)

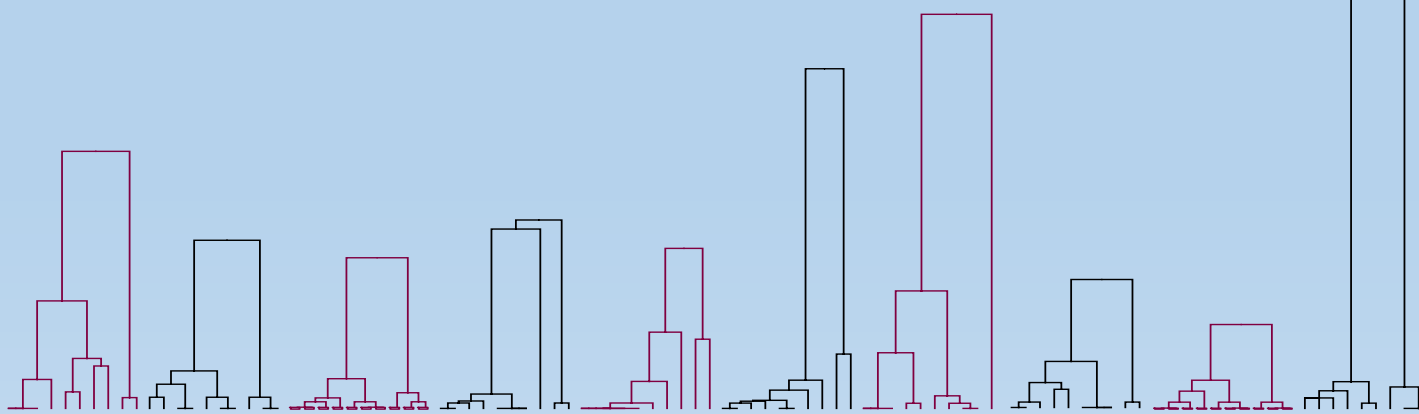
# 集団遺伝学と Coalescent理論の応用

九州大学 手島康介 先生

2002年 東京大学大学院 理学系研究科 博士課程修了  
その後、米国Cincinnati大学、Brown大学、Chicago大学  
および総合研究大学院大学においてポスドク研究員  
2011年より九州大学大学院 理学研究院 助教(現職)

ゲノム多様性データから生物の進化史を推定することは、遺伝・生態をはじめ進化に関係する多くの分野の研究者の興味を引くところである。集団遺伝学では突然変異が生じ、変異が伝達され、変異が種内に広まるプロセスをモデル化して解析することで、ゲノム配列レベルで進化を理解することを目標とする。

今回はまず集団遺伝学では進化をどのように捉えているのか、その基本的な考え方と手法について説明した後、近年の集団遺伝学的解析において広く用いられているcoalescent理論について紹介を行なう。coalescent理論はサンプル間の祖先関係を記述する確率理論であり、この理論を用いることで特定の進化史の下で観察される遺伝的変異パターンを予測することができる。昨今ではゲノム解析技術の発達・計算機の性能向上・ベイズ統計の発達とも相まって、ゲノム多様性データから進化史を推測する時のモデル構築理論として利用されている。Coalescent理論を用いた進化史の推測方法についての概説を行なう。



遺伝子情報から生物集団の歴史や種分化などを推定する学問の基礎から応用  
までを専門家の先生から直々に学ぶチャンスです！是非お越し下さい！ 安田

## 問い合わせ

主催 : 宮崎大学テニュアトラック推進機構 TT推進オフィス

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 TEL: 0985-58-7675

世話人: 宮崎大学テニュアトラック推進機構 安田仁奈

E-mail: [nina27@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:nina27@cc.miyazaki-u.ac.jp)